

74 新破天荒



74回生 最後の文化祭に向けて

一学期中間考査が終わりました。進路確定を急ぐ人には、妙なプレッシャーを感じて臨んだ考査かもしれませぬ。自分の想いを乗せて、考査に取り組むことができましたか？

ナンバー1

オンリー1

結果より経過

今の失敗は 先の成功への経験

などと、話す人の数だけ例えはありますが、基本はすべて、自分が得心できた先にあるものであつてほしいと思います。

ところで、各々中間考査の手応えはどうですか？学年が上がリ、目指すものが具体化してきた皆さんに対しては、私たちもまた、皆さんの進路実現の為に要求レベルを上げて行く必要があります。

自信獲得

を目指させた今までの考査から

自身の大きな夢への一歩

を進めることを後押しする

これからの考査に、点数だけで押しつぶされることのないように、今まで以上に「復習」や「再確認」を大切にして、必ず「再挑戦」を行う習慣をつけてください。

やるべきことは、「こなす」ことだけでなく「身につけていく」ことです。

ローマは一日にして成らず

自分に対して、どこまで「悔しさ」「向上心」「獲得欲」を保ち続けるかです。

その姿

をこれからも期待し続けます。

自分に負けるな！

ところで、今月は皆さんにとって最大の学校行事かつ 姫路南高校生だけの最後の文化祭が待ち受けています。忙しい中ですが、準備はOKですか。

商売というのは、楽しいだけでは駄目だし、目先の利益追求だけでも駄目。しかしながら、商売を共にする人達、その家族、そこに関わる関連の方たちとの共生も必要です。

「楽しみ」の中に、様々な「課題」を感じて、そこから自分の学びが始まります。

文化祭に手を掛けることができる時間、いま自分がするべきことのために確保すべき時間、何よりも自分自身、グループ自身、クラス自身が、妥協なくルールの中で挑戦していくことを期待しています。不平や意見の衝突もあるでしょう。それが前向きで建設的であること。

因みに、各クラス模擬店の内容は

- 一組 ベビーカーステラ
- 二組 焼きそば
- 三組 ミニホットケーキ
- 四組 カリカリチーズスティック
& フライドポテト
- 五組 やきとり

調理担当者だけでなく、検便提出等煩わしいこともありますが、調理するだけでなく、どう商品化し、どう営業しつつ、どう利益を上げていくか、各部署で「工夫」と「気付き」を経験してくださいね。

「楽しかった」だけで終わらせるには、大変勿体ない教材です。必ず「課題を感じる」達成感を得て、文化祭の終わりを迎えよう。

お月の手定

五月二十七日(月)より教育実習

四 日(火)	尿再検査
六 日(木)	歯科検診①
七 日(金)	耳鼻科検診①
十二日(水)	教育相談
十三日(木)	歯科検診②
十四日(金)	耳鼻科検診②
十五日(土)	P.T.A進路研修会(3学年) 代々木ゼミナール
十八日(火)	文化祭準備(午後)
十九日(水)	文化祭①
二十日(木)	文化祭②
二十五日(火)	教育相談
二十八日(金)	期末考査

七月早々も、三学年の成績に関する大切な期末考査が続きます。

先ずは体調、心の整備、そして意地。自分の将来、未来への第一歩です。

途中で下を見ることがなく、最後まで走りきること。振り返るのはそれからです。

漲る力 最後の最後まで

西播大会の顕著な結果で、耳に届いた分のものを記載します。

いよいよ最後の総体です。悔いが残るのも思い出ですが、少なくとも自分が得心するように頑張ってきてほしいものです。

バスケットボール部男子

前期西播大会Aリーグ優勝

および

優秀選手 隅田 昌希



僕達男子バスケットボール部は、四月に行われた最後の西播大会で優勝することができました。五校でのリーグ戦で、初戦は姫路西でした。前の大会では勝っていたのに、今回は惜しくも一点差で負けてしまいました。

しかし、すぐに気持ちを切り替えて一週間練習をしたので、次の試合の龍野北、続いて東洋大姫路に勝利しました。東洋大姫路戦では再延長まで行きましたが、誰一人諦めることがなかったので、勝ち切ることができました。

最終試合の相生産業戦は、勝った方が優勝という状況で勝利を手にすることができました。たくさん友達や先生方の応援が力になったと思います。

高一の頃から言っていた西播大会優勝ができて、本当に嬉しかったです。

顧問の宮本先生がおっしゃられた「楽しいバスケットをしよう」を守って、練習中から楽しい雰囲気を作れていたから、この結果に繋がったと思います。

県総体も、悔いのないよう楽しいバスケットを貫きます。

最後に・・・みんな知っているとと思うけれど、

()

皆さん()内にそれぞれ思う適語を入れて、県大会も頑張ってもらいましょう。

空手道部

前期西播大会

団体

男子形 第3位

男子組手 第2位

女子形 第2位

女子組手 第2位

個人

男子組手

第1位 船田 勇志(1組)

女子組手

第2位 田中 葵(4組)

第3位 富井 心美(4組)

県大会に向けて

男子主将 船田 勇志

最後の県総体の目標は、「悔いの残らない闘いにする」です。今までの試合は、勝っても負けても次が遭ったので、「次の大会ではもっと良い結果を残す」と言う気持ちの切り替えができました。

でもこの県総体は、最後の試合になるかもしれないので、これまでとは違う思いがあります。

もちろん、勝ち上がる気持ちはあります。それに加えて、今の練習では間違いなく勝ち進めないことも感じています。だから、毎日の部活動の時間を、より濃いものにしていて練習も全力を出し切りしたいです。

これまでの部活動生活で身につけてきた力を出し切るにはどうすれば良いかを考えてみました。それ

は、自分の実力に自信を持つことです。これは、今の瞬間ではなく、試合当日に気持ちを切り替えるべきだと思っています。それは、今が自信满满であると進化できないと考えるからです。

最後の県総体ですが、最後の試合にはしたくない、この気持ちを忘れず総体に臨みます。

女子主将 宮原 葵

私たちが入部した頃、3年生の先輩はいませんでした。話を聞くと、空手部女子は部員数が零の廃部状態だったとのこと。驚きや不安と同時に、自分達が姫路南高校空手部を再び復活させてやろうと強く思いました。

しかし、半数以上が初心者という中での練習は、そう上手くいきませんでした。

入部2ヶ月で出場した初めての総体ではどうすればいいかも分からず、周りには上級生ばかりで自分達との実力差に圧倒されました。

それでも、挫けることなく練習を積み重ねた結果、徐々に練習試合で勝てるようになり、さらには近畿大会に出場することもできました。

「しんどー」、「あつっつ!」。毎日のように不満をこぼしながらも練習に励んだ日々。そんな日常も、残り一ヶ月で消えてしまいます。ままで苦労しながらも得た経験や様々な思いを力に変えて、悔いなく最後にふさわしい大会にできるよう、残された時間を大切にしながら前進していきたいです。

PTA総会 学年保護者懇談会 に寄せて

五月十五日水曜日午後、五時間目に授業参観を、六時間目にPTA総会、その後学年保護者懇談会を実施しました。

お忙しい中、PTA総会には約五十名が、学年懇談会においては、文Ⅰ系が三十五名、文Ⅱ系が二十一名、理系が二十八名と、多数の来場をいただき、有り難うございました。進路指導部の先生からも、その盛況ぶりに、保護者の方の受験に対する関心の高さ、お子様への期待感の高さを感じた旨のお言葉をいただきました。

各類型、生徒に見合った情報について、工夫して皆様に伝えることを心がけ、会を進めました。少しでもお役に立てたならば幸いです。

どの類型、進路に関しても、先を急がず自分を安売りしないことが大切であると思います。

勿論、何もせずに口を開けているだけでは売り物にもなりません。でも、皆さんのポテンシャルを考えれば、細やかにメリハリをつけて磨くことを繰り返してくれることで、見える世界が変わってきます。

そう言いながら、三年生のここまで来ているのも事実として受け止めなければなりません。だからと言って、三年間を振り返ったときに自分に課した磨きの「量」は、将来自分に誇れるものではありません。

放課後の図書室、教室、職員室前廊下での居残りの姿が、ようやくと目に留まるようになってきました。

さあ、闘いは始まったばかりです。

上げたり 下げたり

頑張れと励ました言葉を吐いた、その舌の根も乾かないうちに、心苦しい言葉、耳に痛い情報をお伝えします。

中間考査の翌日から、進研6月マーク模試が実施されました。

「休みなし？」

そう。受験生とはそういうものなのです。出欠の状況は悪くはありませんでしたが、総体関係で受験できなかったものも含めて、今週末の土曜と日曜の同じ時間帯で、未受験者は模試を行います。

1・2年生と違い、実力模試ではなく、受験の模擬試験です。それなりに点数を与えてくれる問題は影を潜めています。

ただ、各教科の出題内容としては、1・2年生で学んだものであることは事実です。教科によっては、授業単位数の関係でそこまで網羅できていないことも多少はあるかもしれませんが、

七十四回生進路丸の船出

である第一回模試自己採点の結果は、とても厳しいものとなりました。

全員が受験できたわけではなく、中間考査からの連続日程であることを差し引いたとしても、厳しい船出であることには違いない。とてつもない荒波を前にしました。

そのスタートは、どの教科も平均得点率が35%から40%、合計点平均点はおよそ400点、最高点が600点強というところからです。

さて、

どうする七十四回生？

闘いますか？逃げますか？

伸びしろ一杯の七十四回生

二期の決着という功を焦らないで、自分のポテンシャルを本気で引き出して、受験生としての一年の醍醐味を味わって、手にしたものを天秤にかけて自分の獲得した道を進んでいる姿を期待しています。なぜ期待できるか？それは、二年間にわたり、あれだけ学校の人前で勉強する姿を見せなかった皆が、先述したように図書室・職員室前廊下・教室で自学する姿を、当たり前のように見せられたら、誰だって期待したくなると思いませんか？



散歩道 74

クラスコード 51uczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38

→ 2nd Grade start 52

→ 3rdGrade start 58

→ Now 60

今月の ……の勧め

一 年	五月	「無駄」
	六月	「諦めない」
	七月	「捨てる」
	一学期末	「チャレンジ」
	九月	「さかのぼる」
	十月	「テレビ」
	十一月	「大空間」
	十二月	「無」
	二学期末	「こだわり」
	一月	「信念」
	二月	「探る」
	三月	「自制する」
	一年最終	「勇気を探す」
二 年	四月	「悩むこと」
	四月 2	「本気でぶつかること」
	五月	「この世界の片隅を大切に」
	六月	「主体性」
	七月	「客観性」
	一学期末	「ルーティーン」
	九月	「スマホとの向き合い方」
	十月	「詩に触れる」
	十一月	「破壊する」
	十二月	「想いを再生する」
	2学期末	「夢を目に触れるようにする」
	一月	「アナログ」
	二月	「きっかけ」
	三月	「一度諦める」
	二年最終	「失敗の感情で終わらない」

三 年

四月 「思うだけじゃ駄目」
五月 「目先の失敗に気付く」
六月 「いつか報われる」

2021年9月に予定されていた、世界パラリンピック陸上競技神戸大会は、世界未曾有の新型コロナウイルス禍により延期され続けました。そして、2024年5月について開催されました。3学年の主任として、七十四回生の大切なこの時期に、長期間学校を離れることに多少の迷いはありましたが、結果的には皆さんに沢山のメッセージを発信できる機会となりました。

まずは、人間の活動意欲や向上心の強さ、その為の工夫、努力を厭わない姿には、感動を通り越して、自分の小ささ、言い訳の多さに恥ずかしくもなりました。

競技者は、持って生まれてきた障がい、生きていく中で背負った障がい等、いろんな形で現実を感じたと思います。一方で自分自身の人生の中で、自分をこんなに最大限表現する努力をしようとしたことではないと思いました。

目の前で、数多くのワールドレコードを見ました。幾つかのワールドレコードを計測しました。

競技者が与えてくれる感動もあれば、観衆や他の競技に携わる方から得られる感動も、数多くありました。毎朝6時頃から、私達を迎えてくれる駐車場の警備員さん、各所において笑顔で迎え続けてくださる案内のガイドさんなどなど。

同じ空間で、多くの時間を共有して、同じように、いやそれ以上に疲れていたはずなのに。

こんなこともありました。競技役員をともにした日本福祉大学の学生さん。最終日の午前までの契約だったのに、役員の絶対数不足を感じて、最後まで残って競技役員の協力をしてくれました。お陰で、契約外の時間となった活動については自腹。なのに、爽やかな笑顔を残して神戸を去って行きました。

さらに、お世話になった先生と25年ぶりの再会。加えて、卒業生とはおよそ30年ぶりの再会を。

これこそが「真剣に生徒と向き合い、教師をやつてきて良かった」「たかがの再会、さレどの再会」に、様々な苦労も「いつか報われる」と感じることでできた瞬間でもあり、それを見逃してはいけないと感じました。大会期間中の空き時間に、卒業生には手紙を送りました。大会を終えた翌月曜日に、卒業生から手紙を受け取りました。卒業生のお母様はいま末期がんで終末ケアで病院にいと、再会したときに聞きましたが、送った手紙とともに高校生当時から懐かしみ、親子の話に花を咲かせてくれたとのこと。

あくまでも、偶然的産物の話ではあると思います。ただ、何もしなければその偶然もない。見落とせば、その偶然を感じることはない。

「報われた」と感じることでできたことを大切にしたいと思うし、次の景色をしっかりと見る勇気をくれました。

七月は

期末考査に始まり、進研記述模試、夏休みからの補習の本格化。実力の蓄積。校外での模試（河合塾全統模試）……。なお、全統模試は希望者というところですが、共通テスト受験者は必ず受験して下さい。浪人生も含めた受験のライバルは、ベネッセだけでなく、河合塾のデータも重要です。データだけでなく、問題タイプの経験を蓄積することも大切です。

本気なら

しっかりと受験して下さい。それ以上に、受験の準備をして下さい。
へこたれず、へたれずに、しぶとく受験生の夏の準備をする

大切な七月

であることを理解してくださいね。